

人権教育だより 夏休み号

令和6年(2024年)7月19日

鹿本農業高等学校

人権教育主任 野尻 貴輝

～言語環境を整え、1人ひとりが輝く学校づくり～

今年度、人権教育主任、情報集約担当を務めます野尻貴輝と申します。1年間宜しく申し上げます。

さて、1学期も本日で終わりますが、いかがだったでしょうか。4月の始業式、入学式から始まり、5月には、体育大会、6月には台湾の六亀高級中学校からの学校訪問などがありました。人権教育としましては、6月に各学年にて人権LHRを行いました。今年度は差別を自分事として捉えられるようにペアワークなども取り入れながら行っています。概要と生徒感想(抜粋)を紹介します。

【6月】1年生「ハンセン病」…ハンセン病回復者の平沢保治さんの講演を動画で視聴しました。

・病院なのに刑務所みたいところや無理矢理名前を変えさせられたところが印象に残りました。偏見や見た目などで差別をしたらいけないと改めて思いました。

2年生「障がい者の人権」…実写版「聲の形」を視聴し、障がい者差別、いじめ問題を考えました。

・先生が自分がしている差別について考える、と言われて考えてみました。私は、もしかしたら日頃の生活から差別しているのかもしれないと思いました。差別は偏見からきているのではないかなと思いました。

3年生「北朝鮮拉致問題」…アニメ「めぐみ」を視聴し、拉致問題について考えました。

・もし自分が親で子どもが誘拐されたら正気でいられないし、幸せを奪われたならなおさら耐えられない。そんな苦しい状況の中でも横田さんの親は娘のために救出のための署名活動を行って親の鑑だと思った。

令和6年度(2024年度)「心のきずなを深める」標語作品について

6月の人権LHRで作成し、総数113点集まりました。校内の人権教育推進委員会で選定し、県に応募する5作品を決めました。応募作品+αを月替わりで校内掲示する予定です。

- あなたの一言が 誰かを救う 魔法の言葉になりますように
- そっとさしのべる あなたの手は何よりもあったかかったよ
- 大好きな あなたの笑顔 守りたい
- いじめなし まずはクラスの 雰囲気から
- ちょっとまって! その言葉もう一度 心の中でくり返してみて



人権イラスト佳作
「アルメちゃん」
高校生

人権コラム「水俣病マイクオフ問題について」

5月1日。水俣病公式確認の日に行われた環境大臣と水俣病患者との懇談会において、発言時間をオーバーした団体に、まとめるよう勧告し、その後マイクの音量を切ったことはニュース等でご存じの人も多いのではないのでしょうか。その後、マイクの音量は入りましたが、団体の人は思いを十分に伝えられていないように感じました。私は、相手のことをいかに考えるかが大事だと思いました。毎年行われてからではなく、誰のためなのか、自分自身もこれまでを振り返り、生徒と話すときに相手のことを考えているのか、改めて考えました。

夏休み課題 ○「令和6年度(2024年度)人権メッセージ」

毎年、多くののすてきなメッセージが作られています。今年も、頑張りましょう。

提出メ切 8月27日(2学期始業式) 提出先 担任 → 野尻

